



2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月14日

上場会社名 株式会社クリーマ 上場取引所 東
 コード番号 4017 URL <http://www.creema.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸林 耕太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート (氏名) 伊藤 彩紀 TEL 03(6447)0105
 ディビジョンGM
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の連結業績 (2021年3月1日～2021年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	1,666	9.4	237	△26.8	232	△24.4	204	△18.0
2021年2月期第3四半期	1,523	-	324	-	307	-	249	-

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 204百万円 (△17.8%) 2021年2月期第3四半期 249百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	30.60	28.85
2021年2月期第3四半期	54.41	54.29

- (注) 1. 2020年2月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 2020年8月17日開催の取締役会決議により、2020年9月3日付で普通株式1株につき1,000株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 当社は、2020年11月27日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2021年2月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2021年2月期第3四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 4. 2021年2月期第3四半期決算短信では、2021年2月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、期首に新株予約権が行使されたと仮定し45.67円と算定しておりますが、新規上場日に新株予約権が行使されたと仮定し算定する方法に修正し、54.29円となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	3,860	1,293	33.5
2021年2月期	3,694	1,081	29.3

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 1,293百万円 2021年2月期 1,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年2月期	-	0.00	-	-	-
2022年2月期 (予想)	-	-	-	-	-

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,446	18.6	315	39.5	307	50.4	293	64.4	44.03

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2021年2月28日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	6,692,100株	2021年2月期	6,661,100株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	43株	2021年2月期	43株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	6,678,304株	2021年2月期3Q	4,578,938株

（注）2020年8月17日開催の取締役会決議により、2020年9月3日付で普通株式1株につき1,000株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2022年1月14日（金）に四半期決算補足説明資料を当社のウェブサイトにて公開し、2022年1月17日（月）にSBI証券のウェブサイトにて機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの説明会をライブ配信で開催します。

また、四半期決算補足説明資料を日本取引所グループウェブサイト上の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、「まるくて大きな時代をつくろう」を企業理念に、その実現に向けた第一弾の事業として、クリエイターエンパワーメント事業を推進しております。

日本ならびに中国語圏におけるグローバルハンドメイドマーケットプレイス「Creema(クリーム)」の運営を行うマーケットプレイスサービス、「Creema」のプラットフォームを活用し、出店クリエイター・企業・地方公共団体のマーケティング支援を行うプラットフォームサービス、日本最大級のクリエイターの祭典「HandMade In Japan Fes' (東京ビッグサイト)」等の大型イベントの開催や、「Creema Store」の店舗を展開するイベント・ストアサービス、さらには、クリエイターの創造的な活動を応援することに特化したクラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」、人気アーティストがレッスン動画を販売する動画プラットフォーム「FANTIST」など、クリエイターの活動を支援するサービスを様々な角度から展開し、まだ見ぬ巨大なクリーム経済圏の確立と、クラフトカルチャーの醸成に力を注いでおります。

マーケットプレイスサービスにおいては、ハロウィン等のトレンドを捉えた各種マーチャンダイジング・キャンペーン施策の展開に加え、タレントの千秋氏が創業し、ブランドマネジャーを務めるハローサーカスと、世界的なファッションデザイナーである丸山敬太氏とのコラボ企画「Creema×ハローサーカス スタークリエイター発掘プロジェクト」を展開するなど、クリエイター作品の魅力を訴求する様々な企画・特集を実施しました。それに加え、タレントの千秋氏がプロデュースする新ブランド「エリアCC」を立ち上げ、「Creema」上での作品販売を開始するなど、今までにない取り組みも実施しております。また、7月・8月には「Creema」のTVCMを首都圏で放映するなど、「Creema」の認知拡大・価値訴求にも努めて参りました。加えて、ユーザーインターフェースの向上や、クリエイターの利便性向上施策を中心とした「Creema」製品の改善や、お客様により一層の安心・安全な購買体験を提供すべく、システムおよびサポート体制の強化等も行いました。

前期、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない一時的に需要が急増したハンドメイドマスクの流通を除いた当第3四半期連結累計期間における流通総額は11,376,068千円となり、前年同期比20.3%増と大きく成長しております。一方で、左記の一時的な需要急増の反動を受け、ハンドメイドマスクを含めた全体の流通総額は11,764,191千円(前年同期比2.6%増)、マーケットプレイスサービスの売上高は1,163,398千円(前年同期比1.4%増)での着地となりました。全体では僅かに前年水準を上回るに留まりましたが、マスク需要を除く本質的なサービス規模においては引き続き力強く成長を続けております。なお、当第3四半期連結累計期間におけるクリエイター数は約22万人、登録作品数は約1,200万点、スマートフォンアプリのダウンロード数は約1,200万回を突破しております。

プラットフォームサービスにおいては、「Creema」のプラットフォームならびにユーザー基盤を活用した企業・地方公共団体向けのPR支援を行う外部広告サービスで、大手メーカーをはじめとする様々な企業とのコラボレーション企画や、伝統工芸産業のデジタルシフト支援案件、地方自治体のプロモーション案件等の受注・納品が大きく拡大しました。また、クリエイターが自身の作品を「Creema」上でプロモーションできる内部広告サービスでは、広告サービスの利用促進のための各種キャンペーンや機能追加等に引き続き取り組んだ結果、堅調な成長を維持しました。この結果、プラットフォームサービスの売上高は414,257千円(前年同期比38.1%増)での着地となりました。

イベント・ストアサービスにおいては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛要請等による影響を大きく受けました。ストア領域では、新型コロナウイルスの影響から前期末と比べて店舗数が縮減しております。また、緊急事態宣言のあおりを受けて当社ストアも営業ができない状態が発生したことに加え、再オープン後もお客様の来店離れが継続しました。なお、イベント領域では、今期初の大型イベントとなる、音楽とクラフトの野外フェスティバル「Creema YAMABIKO FES 2021」を開催しました。音楽を主軸とした当社初の野外フェスティバルながら、参加者総数は1万名を超え、業界内外からも大きな反響を受けました。上記の結果、イベント・ストアサービスの売上高は70,169千円(前年同期比6.2%増)での着地となりました。

新サービス群では、クリエイターの創造的な活動を応援することに特化したクラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」において、前年度に引き続き多くのクリエイターから多様かつ魅力的なプロジェクトが起案され、その多くが目標支援金額を達成しております。加えて、クリエイター・購入者双方に対し、より優れた顧客体験を提供すべく、8月には「Creema SPRINGS」のサイトをリニューアルオープンいたしました。また、様々なジャンルの人気アーティストがレッスン動画を販売するレッスン動画配信プラットフォーム「FANTIST」においても、参加アーティスト数・出品動画数ともに順調に成長しております。その他の新サービス群についても、クリーム経済圏の更なる拡大に向け、着実にテスト・開発を進めております。

これら全てのサービスを連携させることにより、ユーザー価値の最大化を図ると同時に、当社グループのサービスの認知度向上及び市場の拡大、クリーム経済圏の確立に取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間における全社業績は、前年に発生したマスク需要の大きな反動を受けながらも、売上高は前年同期比9.4%増となる1,666,583千円で着地いたしました。ハンドメイドマスクの売上を除いた全社売上は前年同期比23.0%増となっており、サービスの本質的な部分ではより一層大きく成長しております。一方で、プロモーション費・開発外注費・

新サービスへの投資等を成長加速のために計画通り増加させたことにより、営業利益は前年同期比26.8%減となる237,192千円での着地となりました。その他、経常利益は232,251千円（前年同期比24.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は204,327千円（前年同期比18.0%減）となりました。2021年4月14日に開示した通期の営業利益計画に対する進捗率は、当第3四半期の段階で目標の約7.5割まで到達しており、流通・売上などその他の重要指標における進捗率も概ね計画通りに推移していることから、開示した通期計画に変更はありません。

なお、当社グループでは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,860,672千円となり、前連結会計年度末に比べ166,411千円増加いたしました。主な増減要因は、人員増加に対応し、さらなる事業成長を図るための本社移転に向けた敷金差入により敷金が90,993千円、システム開発により取得したソフトウェア（ソフトウェア仮勘定を含む）が62,846千円、企業結合により発生したのれんが41,486千円増加した一方で、現金及び預金が54,415千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,566,726千円となり、前連結会計年度末に比べ45,705千円減少いたしました。主な増減要因は、借入により長期借入金が131,135千円増加した一方で、返済により短期借入金が100,000千円、1年内返済予定の長期借入金が95,716千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,293,945千円となり、前連結会計年度末に比べ212,116千円増加いたしました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益204,327千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想については、2021年4月14日の「2021年2月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,885,204	2,830,789
受取手形及び売掛金	645,918	652,694
その他	37,090	21,893
流動資産合計	3,568,212	3,505,376
固定資産		
有形固定資産	18,517	12,145
無形固定資産		
のれん	-	41,486
その他	-	62,846
無形固定資産合計	-	104,333
投資その他の資産	107,530	238,816
固定資産合計	126,048	355,295
資産合計	3,694,261	3,860,672
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	266,896	171,180
未払金	217,078	139,886
未払法人税等	51,825	35,920
未払費用	51,239	42,011
前受金	49,248	101,189
預り金	1,460,553	1,546,130
賞与引当金	-	6,291
ポイント引当金	16,908	17,738
その他	99,751	66,458
流動負債合計	2,313,503	2,126,807
固定負債		
長期借入金	298,928	430,063
その他	-	9,856
固定負債合計	298,928	439,919
負債合計	2,612,431	2,566,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	532,703	536,307
資本剰余金	532,703	536,307
利益剰余金	17,860	222,188
自己株式	△228	△228
株主資本合計	1,083,039	1,294,575
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,862	△1,282
その他の包括利益累計額合計	△1,862	△1,282
新株予約権	652	652
純資産合計	1,081,829	1,293,945
負債純資産合計	3,694,261	3,860,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	1,523,464	1,666,583
売上原価	3,360	40,732
売上総利益	1,520,104	1,625,851
販売費及び一般管理費	1,195,942	1,388,659
営業利益	324,161	237,192
営業外収益		
受取利息	25	20
為替差益	-	423
その他	207	1,013
営業外収益合計	232	1,456
営業外費用		
支払利息	5,569	6,397
為替差損	183	-
上場関連費用	9,489	-
株式交付費	1,773	-
営業外費用合計	17,016	6,397
経常利益	307,377	232,251
特別損失		
店舗閉鎖損失	4,041	-
特別損失合計	4,041	-
税金等調整前四半期純利益	303,336	232,251
法人税、住民税及び事業税	54,200	42,816
法人税等調整額	-	△14,893
法人税等合計	54,200	27,923
四半期純利益	249,135	204,327
親会社株主に帰属する四半期純利益	249,135	204,327

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	249,135	204,327
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	54	580
その他の包括利益合計	54	580
四半期包括利益	249,190	204,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249,190	204,908
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年11月30日)

当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。